

令和2年みどり市議会第1回定例会一般質問通告一覧

令和2年2月28日(金)

NO	氏名	質問事項	質問の要旨
1	常見 詔子	1. 知る権利を支える情報公開について	(1)「念書」の部分公開決定について ア)公文書公開請求による「公文書部分公開決定」については イ)公文書の決定にかかる期間については ウ)大間々町の太陽光パネル設置の届け出時に提出された「念書」についての情報公開請求をしたが、令和2年1月20日に公開された「念書」には住所も氏名も事業名も具体的な文言は何もない。黒塗りの箇所が11カ所あるが黒塗りにした理由は エ)情報公開された「念書」について オ)「念書」の最後に「今回の設置工事中と設置後の管理を含めて隣接地権者様へ事業内容に関する説明を行います」とあるが、実行されたか (2)公文書管理と情報公開制度について ア)平成30年度における情報公開条例の実施状況は イ)公文書管理法第1条について ウ)公文書の保存期限は エ)みどり市に「行政文書管理規則」はあるか オ)総括について
		2. 新型コロナウイルスによる肺炎の感染の拡大について	(1)新型コロナウイルスへの対応策について ①関係機関を集めた対策会議等を開催したか ②現状の確認については ③感染症への対策について
2	高草木 良江	1. 住み続けられるまちづくりを	1)公共施設等の「個別施設計画」策定について ①みどり市のビジョンについて ア)4万人の市を想定した市全体のビジョンを示すべきではなかったか ②行政系施設の分類として、庁舎のあり方検討委員会の検討結果を示すべきではなかったか ア)庁舎間の移動に係るコストが解消できる具体的な額の検証は イ)防災拠点施設を先行して整備する必要があるとされていたが今後の見解は ③課題解消に向けた取り組みへの考えも示すべきでは ア)公民館やコンビニ等で各種証明書を取得できるシステムの導入について イ)防災拠点施設の整備で、統廃合や廃止になる地区公民館・住民センター・集会所は、住民の利便性や、災害時の一時避難所等から考えた結果なのか ウ)災害備蓄品の配備におむつや生理用品の配備への見解は エ)液体ミルクの期限切れ前の利活用について ④ふるさと往来センターを多世代交流館に統合整備について ア)ふるさと往来センターはダンスで多くの人が使用しているが、多世代交流館では床の関係で移行できないとの意見が多かったが今後の見解は ⑤学校の適正配置について ア)大間々地域の学校の適正配置と義務教育学校について (2)安心安全分野 ①みどり市再生可能エネルギー発電の設置に関する条例について ア)みどり市再生可能エネルギー発電の設置に関する条例案策定の経緯について イ)災害時の速やかな撤去や事故の責任の明記について
		2. 健康・福祉・医療・雇用について	①かたくりの湯建設と総合福祉センターについて ア)かたくりの湯建設費は イ)かたくりの湯建設に総合福祉センターとの併設できないか ②国保診療所と地域包括ケアシステムについて ア)ドクターを中心の地域包括ケアシステムへの見解は イ)遠隔診療の導入について ③みどり市人材プランについて ア)就職氷河期世代を対象に中途募集を イ)専門職の採用について ウ)職員の育成について

NO	氏 名	質問事項	質問の要旨
3	柴崎 訓佳	1. 職場環境の現状と職員採用・退職者の実態について	(1)職員及び管理職の育成・資質の向上について ①職員及び管理職の育成について
			②人事管理及び評価について
			③過去5年間の職員採用と退職者の状況について
			(2)職務環境・職場環境の実態について ①早期退職者及び病休職員の原因の究明について
			②職場の人間関係の把握と具体的な事例について
			(3)職場でのパワーハラスメントについて ①小中学校でのパワーハラスメントの実状について
			②市役所内でのパワーハラスメントの実状について
			③職員の降格について
			(4)職員の給与体系について ①若手退職者と給与体系との関連について
		②今後の対応について	
		2. 「公共施設等総合管理計画」個別計画の市民説明会実施に伴う市民の声について(新庁舎建設について)	(1)市民説明会における市民の声について ①計画案にどのように反映させるのか
			②策定前における議会・住民との情報共有について ③スケジュールの変更について
			(2)新庁舎建設あり方検討委員会の進捗状況について ①発足の経緯について ②進捗状況について ③現在の職場環境における職員の対応は可能か
			(3)新庁舎建設に伴う市長の考え方について ①広域的視野をもった策定が指針にあるが ②未実施となっているインフラ整備が最優先では ③今後の対応について
4	丹羽 あゆみ	1. みどり市への企業誘致について	①みどり市及び県内の類似団体におけるこれまでの企業誘致実績について
			②企業ニーズに合わせたオーダーメイド方式の企業誘致の可能性について
			③公共施設等の「個別施設計画」において統廃合により使用しなくなる公共施設について企業誘致の可能性
			④空き家等において、小規模で起業する方や市民活動の拠点としての支援について
			⑤みどり市への企業誘致についての所見
		2. 教員の負担減と学校教育の充実化	①みどり市における学校教育の勤務実態の把握状況について
			②文科省調査においても教員の在職等勤務時間短縮のために効果が大きいと考えられた部活動ガイドラインの実効性担保に向けた取り組みの本市における状況について
			③部活動等における外部人材の登用、外部委託の本市における状況について
			④校務支援システムの導入、留守番電話の設置やメールでの連絡体制の整備等インフラ充実による教員の負担軽減の可能性について
			⑤プログラミング教育が小学校で必修化されるに当たり、円滑な実施に向けて必要と考えられる指導体制等本市における整備状況、予定について
		3. みどり市における生活困窮対策等について	①みどり市における生活困窮者、生活困窮世帯及び子供の生活困窮の把握状況について
			②本市における就業支援の状況
			③フリーマーケット支援、リサイクル家具等の提供等、本市におけるリサイクル事業の取り組みについて
			④公立学校卒業生の使用していたランドセル、制服、体操着、一定の教材等について生活困窮世帯の子供に対し、リユースする仕組みづくりについて
			⑤子供の生活困窮対策(特に一見生活困窮と見られないが相対的生活困窮に陥っている子供の把握方法を含めた)についての所見

NO	氏名	質問事項	質問の要旨
5	須藤 日米代	1. 東町における交通手段について	<p>(1) 路線バス運行の現状について ① 運行形態と乗車状況は ② 運行委託状況は ③ 運行経費は</p> <p>(2) 公共交通空白地有償運送グループ28の現状について ① 登録者数は ② 送迎する場所や目的の状況は ③ 料金体制は</p> <p>(3) 路線バス、グループ28の現状についての住民の声は (4) 路線バス運行の検証、見直しの考えは (5) グループ28の必要性について (6) デマンドタクシー実現に向けた考えは</p> <p>(7) 東町における交通手段についての思い、今後の対策は</p>
		2. 小中一貫校教育の推進とコミュニティ・スクールについて	<p>(1) 小中一貫校開校に至るまでの経緯は</p> <p>(2) 小中一貫校開設を決断した理由は (3) 義務教育学校開設を令和4年にした経緯は</p> <p>(4) 小中一貫教育のメリットは (5) 小中一貫カリキュラムについて ① 英語特例校の実績と生徒の英語力の状況は</p> <p>(6) 生徒の英語力の向上に関する取り組みについて ① ALT、ICT機器の活用は ② 外部専門機関と連携した教員研修は</p> <p>(7) 小中一貫教育推進のためのコミュニティ・スクールの充実は ① コミュニティ・スクールの概要は ② 学校運営協議会と学校評議員との違いは</p> <p>③ 地域による学校支援の拡充に向けた取り組みは ④ 地域住民に対する情報発信は</p> <p>(8) 小中一貫校開設による、東地域で学ぶことに自信と誇りを持つアズマ・プライドについて思いは</p>
6	宮崎 武	1. 高齢者日常生活用具給付事業の再点検について	<p>① 本来の目的の再確認をし今後より良い施策にすべく再考を ② 電磁調理器の詳細 ③ 火災警報器の詳細 ④ 自動消火器の詳細 ⑤ 福祉電話の詳細 ⑥ 市民への周知について ⑦ ハードルの再検討</p>
		2. みどモスの市民周知の徹底について	<p>① 商品に至るまでの手続は ② 販売ルートの掌握についての認識は ③ 市民ニーズに応える商品の作成は ④ 缶バッジ等の義務教育生徒、児童等に配布は ⑤ 今後のみどモスの取り扱い方等</p>
		3. 電話でバスの障がい者・高齢者の対応等について	<p>① 対応はどのように ② バス停の位置変更の際の考え方について等</p>